

GL アクティブ（国内研修） 実施講座名 『千葉大学 ESD ワークショップ』

- 1 目的 ASEAN からの留学生（千葉大学）に日本の伝統的な楽器を紹介することを通じて、日本の歴史、伝統、文化を異なる視点から見つめる機会を持ち、研究課題を見つける一助とする。また、英語でのコミュニケーション能力を高める機会とする。
- 2 日時 平成28年7月10日（日） 午後1時30分～午後4時30分
- 3 参加生徒 5名（1年）
- 4 場所 千葉市生涯学習センター
- 5 内容 講師 島村聖香先生（東京芸術大学講師）、本多佐保美先生（千葉大学教育学部教授）



大鼓を留学生に向けて英語で説明しました。講師の島村先生から「素晴らしい説明でした。」とのコメントをいただきました。



留学生と本校生徒混合グループと一緒にメロディーを考えて、オリジナルの節を鼓で演奏しました。



国によってそれぞれ歴史や文化は異なるが、同じ楽器を一緒に奏でることによって、気持ちが通じ合えたような気がしました。（生徒のコメントより）

## 6 成果と課題

参加した生徒は、今までに体験することのなかった日本の伝統楽器について自分たちで調べ、英語で留学生に説明するという通じて、日本や日本文化をさらに学びたいという意欲が高まったように思われる。また、英語で大鼓の説明をしたり、グループで話し合いをしたりすることによって、コミュニケーションを図ることについても少し自信を高めることができたようである。課題研究の課題についてはまだ発見できていないので、今後に期待したい。